

20周年 けやきコミセン

コミュニティ けやき ニュース

No. 96号（通算120号） 2009年11月15日発行

「大野田地域防災の会」が発足しました。

国の内外を問わず、災害が多発している昨今、防災について関心が深まっており、この大野田地域でも防災組織の必要性を痛感していました。元大野田小学校校長白井先生の後押しもあり、「大野田福祉の会」「緑町コミセン」「けやきコミセン」の三つの組織で「大野田地域防災を考える会」が発足いたしました。（今から二年前のことです）

発足から二年間、地域の方々と話し合いを重ね、市内の防災拠点の見学、藤沢市に防災の勉強のためのバス研修など活動を進めていく中で、親睦を深めながら防災に対する意識をより高めています。三つの組織で発足した会も発展して、「大野田地域防災の会」として、新しく歩み始めようとしています。

今後は大野田小学校や第四中学校が、災害時の避難場所となった時のスムーズな運営のための訓練、防災に関する日頃の取り組み、小中学生を対象としたイベントなどを行いながら、地域が一体となって「防災に強い明るいまち」と繋げていきたいと願っています。

（文責 寺島）



11月1日（日）バス研修会で藤沢市の御所見市民センター・公民館を見学に行きました。



御所見市の防災組織づくりについて熱心な取り組みを伺いました。



大野田小学校にて市の防災総合訓練の運営に参加し地域の助け合いの大切さを改めて習得しました。

けやきニュース 96号紙面から

- 2面 20周年の事業予定・イベント紹介
- 3面 20周年コンサート・夏まつり報告
みどりのまなびや報告
- 4面 まちづくり局紹介
- 5面 コラム「ドラちゃんの眼」
・学生から見たけやき
- 6面 けやきコミセン物語（3）

けやきコミセン開館 20 周年 記念式典 および 祝賀会

平成 21 年 12 月 6 日 (日)

尚、この日は全館休館になりますのでご了承ください。

◆エトフェスタ

(エト市&花市&エト文化祭)

★エト市 10 時～13 時

・花市・野菜市・バザー

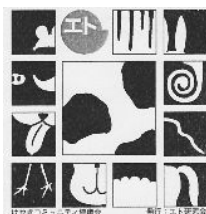
★フリーマーケット 10 時～

地域の方々が素敵な掘り出し物や手作り品を持ち寄ってお店を開きます！

★ エト文化祭 13 時～16 時

日頃けやきコミセンで活動している団体の皆さんが作品やパフォーマンスを披露します。お楽しみに～！

*マイバックをご持参下さい。



(今年の丑エト券です！)

◆どんど焼きとむかしあそび

平成 22 年 1 月 9 日(土) 10 時～

大野田小学校にて毎年恒例の「どんど焼きとむかしあそび」を開催いたします。

緑町コミセン・大野田あそべえ企画運営会議・けやきコミセン共催で実行委員会が立ち上がり開催に向けて着々と準備を進めています。

来年のどんど焼きのテーマは

「体験しよう 日本の伝統文化を！」

* お正月のお飾りなどお持ち下さい。

(ビニール・プラスチック・鈴・橙の実などは、ダイオキシン対策の為ご家庭ではずして来て下さい。)

けやきコミセンとボランティアつくしんぼの会

地理的に我が家から一番近いのは中央コミセン、2番目が緑町コミセンという立場の私にとって、けやきコミセンはいつも入り浸るには少し遠い場所です。建設運動が盛んだった頃の「まつり」、開館以後の運営委員会や窓口当番は、とても貴重な経験でした。けやき学舎も楽しい活動でした。月に一度けやきを利用している「ボランティアつくしんぼの会」は、けやきの開館に少し遅れて四中 PTA 活動から出発しました。第2金曜日の例会は小物作りと昼食、おしゃべりが中心です。来年2月で満20年です。他のコミセンと違って5人以下でも部屋が使えることなど、けやきが使えたからこそ活動が続けてこられたと感じています。

12月に開く恒例の「ミニバザー&交流ひろば」は、収益はそれほど多くありませんが、障害者や家族の方の出会いの場となって、毎年人の輪が広がっています。収益は、応援の気持ちを持って障害者団体などに寄付しています。けやきコミセン独自の活動が活発で、協働できないのが少し残念に思うところです。

長島 祥子

けやきコミュニティセンター開館20周年記念コンサート

おしゃべり音楽館 ～気軽にクラシック～

2009年10月17日(土) 武蔵野市民文化会館小ホール

けやきが開館した当時、結成されたばかりのソリストグループ「オペラアンサンブル31」の方たちが練習場としてけやきを使っていたという縁で、5年10年15年という節目の年にコンサートを開催してきました。今回も美しい歌声をホールいっぱいに響かせてクラシックの名曲の数々で観客を魅了。4人のトークもパワー全開で会場を沸かせ、20周年を祝うにふさわしい素敵なコンサートになりました。熱のこもったステージを披露してくださった出演者の皆さん、会場いっぱいに盛り上げてくれた観客の皆さん、そしてスタッフの方々ありがとうございました。またお会いしましょう。



「けやき納涼・夏まつり」

2009.8.29 (土)

今年の「けやき夏まつり」は、お天気に恵まれ来場者やお手伝いの方々も多く、大盛況に開催する事が出来ました。特に盆踊りはお年寄りから子供たちまで沢山の人がやぐらのまわりを囲んで、楽しく踊っていてとても感激しました。片桐先生に音頭をとっていただき、どなたでも自然に手や足が動いて踊りの輪に加わりたくなります。いつも大変盛り上げていただきます。また今年は大野田小学校の田中校長先生・小林副校長先生や若手の先生方がお手伝いで参加、やきとりの屋台でモクモクの煙の中、汗だくでやきとりを焼いたり呼び込みまでして頂き子ども達も大喜びでした。ご協力して頂いた大勢の皆さま本当にありがとうございました。 実行

委員長 土田

みどりのまなびや 秋編 (けやき学舎としゃべり場 共同企画)

～人のあしあと まちの歴史～

3人の方から貴重なお話を伺い、そこから一緒にしゃべるひと時を持ち、これからのけやきらしいコミュニティについて考えるエネルギーを頂きました。有意義であたたかな会にすることができて、感謝しております。当日の詳しいお話を知りたい方は窓口までお申し出ください。

- 第2回 9月19日(土) 19時 22人参加
吉田 善明さん 「1970年代 武蔵野市のまちづくりの思い出」
(北町3丁目在住 第2期長期計画委員長 明治大学法学部名誉教授)
- 第3回 10月3日(土) 13時半 22人参加
野津 功さん 「まちの木々を訪ねあるいて」
(北町4丁目在住 元運営委員 町内樹木ものがたり作成)
- 第4回 10月12日(月・体育の日) 13時半 31人参加
宇賀神 勲さん 「80年前のこのまちをしていますか？」
(北町5丁目在住 古くから住む地域の方)



けやきまちづくり局



からだほぐしお食事の会

★11月20日(金) 第77回 11時半～

『手品』・ダンベル体操
季節のお食事：栗入りお赤飯 他
次回 第78回は、2月開催予定

けやきあそび隊

★12月19日(土)『クリスマス フォー キッズ』

13時30分～16時 直接おいでください。
クリスマス工作/折り紙 * どんぐり工作 *
クッキーにトッピング 他 お楽しみ企画 !!

けやきガーデナーズ

★11月28日(土) 花市 10時～

エト市と同時開催。なくなり次第終了。
毎週月曜日の午前中に花壇のお手入れを
行っています。
お花が好きな方、一緒にやりませんか？

よみきかせ紙ふうせん

毎月第4土曜日 11時～12時30分

絵本の読み聞かせや紙しばい、折り紙あそび
をしています。

風と歩こう

★12月1日(火)『紅葉の高尾山へ行きましょう!』

AM8時 吉祥寺駅井の頭線 切符売り場前 集合
詳細はお問い合わせください。
申込みは直接窓口へ。(電話可)

毎月第2火曜日9時～中央公園

《四季の自然を訪ね、楽しくウォーキング!》

毎月第1・3火曜日 20時～けやきコミセン

《地域を守るナイトウォーキング》

けやきまちづくり局は…“いいまちつくろう!”
という思いのもとに、この指とまれ!で結成さ
れたチームの集まりです。世代を超えた人た
ちの参加で地域の方々も含め人の輪がどん
どん広がり、“人と人とのつながり”を感
じられる素敵な場となっています。どうぞ
ご参加ください。

けやき囲碁のつどい

毎月第2日曜日 13時～開催しています。
どうぞご参加ください。

ぱそこん倶楽部

毎月第3火曜日 13時30分～

勉強会をやっています。
参加ご希望の方はお問い合わせください。
12月から火曜日に変更になりました

まちの中の美術館

美術館めぐり、街歩き など計画中!!

あっとおどろくエコクラブ

子どもと一緒に、地球の自然を大切にす
ることや、エコについて考えます。

エト研究会

★ 11月28日(土) 10時～16時

「エトフェスタ」「エト市」+「エト文化祭」
詳しくはチラシをご覧ください。
毎月第3土曜日「けやき茶社」にブースを設
けていますので、ご関心のある方はどうぞい
らしてください。「ありがとう」のコミュニ
ティを一緒につくりましょう!

けやき茶社

毎月第3土曜日 2時～4時

1階コミュニティルームにて開店!
男たちのカフェでサイフォンコーヒー・
中国茶&手作りスイーツが楽しめます。



ドラちゃんの眼

成蹊大学の学生たちと武蔵野市を研究しているドラちゃんが、今、このまちで起っていることを皆さんにお伝えします。

「エト」はすごいことをやろうとしているのかも？ (3) — 「エトフェスタ」開催

「エトフェスタ」(11月28日)は人と人をつなぐイベントです。「エト」で交流する「エト・コミュニティ」をつくろうと成蹊大学の学生たちが、「けやき」のみなさんの協力のもとに企画しました。「エト」は「けやき」で発行している地域通貨で、「ありがとう」の気持ちを表わすもので円とは交換できません。「エトフェスタ」で「エト」を得るには、同時に開催している「花市」「野菜市」「バザー」で買い物をして1枚、当日午後の「エト文化祭」の催し物(ダンス、シャンソン、朗読、吹奏楽、フラダンス)を鑑賞して1枚差し上げます。これで「エト・コミュニティ」に参加です。

その「エト」は、古本や瀬戸物などいい品物を提供してくれて「ありがとう」、押し花、手芸、粘土細工、エト文化祭の出演団体などいいサービスを提供してくれて「ありがとう」と「ありがとう」を表現するものとして使えます。エトカフェで隣の人とお話しして「ありがとう」、エト・ハローワークでお手伝いして「ありがとう」など、様々な使い方をみなさんで作り出してください。「エト」を介して、地域の人たちが知り合えるきっかけづくりを目指しています。

学生から見た けやきのまちづくり

このコーナーでは、けやきで活動する学生達が、けやきで見つけた様々な発見について、皆さんに発信していきます。

< けやきと出会って・・・ >

成蹊大学理工学部 大竹正輝

部活動でけやきコミセンと関わり始めてもう3年以上になりました。その関わりの中で僕は、自分の故郷とけやきを比べて見ることがよくあります。

僕は新潟県の南魚沼というところで生まれ育ち(大河ドラマの主人公と一緒に)、大学進学のため3年前の春から都内で一人暮らしを始めました。僕の故郷は言ってしまうと田舎で、地域の人たちとの関わりがとても多いところでした。周辺を歩けば近所の人に話しかけられ、家に帰れば祖母が近所の人たちと家でお茶を飲みながら雑談をしている、そんなことがほぼ毎日。町内会の集まりがどうだという話題も良く耳にしました。当然、都会での一人暮らしの生活にはその様なものは一切ありません。そんな中僕は、地域交流部という部活動に参加し始め、その活動でけやきを訪れるようになり、運営委員になりました。けやきに深く関わり始めたころ、大学の近くを歩いていると、「あら、大竹君！」とけやきの人に話しかけられる事が増え始めました。また、用事があってけやきに行き、ちょうど皆さんでお茶を飲みながら雑談しているところで、その場に混ぜてもらうこともありました。近所で話しかけられたり、近所の人たちとお茶を飲みながら雑談したりして、地域の集まりにも参加している。故郷で体験したことだんだん似てきました。もちろんここは武蔵野市で、田舎とはかけ離れています。ですが、かけ離れた場所でも、故郷と似たようなところがあると思うと、少し安心できる気がします。

*けやき=けやきコミセンです。

けやきコミセン物語 (3)

「けやきのイベントは面白い」・・・子どもの間に、いつの間にかそんな噂がたっていると聞こえてきたのは、10年も前のことでしょうか？ まち全体を舞台にした「おもしろ発見会議」「忍者修行道場」など「まちに出よう」「いいまち創ろう」と通年事業を繰り返した数年でした。そういう活動が発展して、同時にたくさんのチームによるより日常的な動きになりました。「まちづくり局」(03年)の誕生です。

いまだ発展途上です・・・あなたも参加を



はじめの頃は「来てね、手伝ってね!」と、運営委員全体が主催者の顔になって、年間の行事や企画にお誘いの声かけをしたものでした。イベントの手伝いから運営委員にと誘われた人も多いんですよ。

「けやきってなんでもやっちゃうんですね!」・・・「扶桑通りの成蹊のコンクリート塀に壁画を描こう!」という一言が、形を変えて市営プール前の広場で巨大な絵になって掲げられたり・・・誰かがなにげなく発言した一言からだんだんその熱気がひろがり、実現してしまう。新顔や若い人を実行委員長に立てて、ベテランが周りを固める・・・というようなことが、今に引き継がれています。

けやきコミュニティセンターの年間利用者は約6万人、運営委員30～60人、今ではいろいろな形や場所でけやきを支えてくれる協力員が100名を超えています。”けやきまつりなど大きなイベントになるとスタッフの数は200人ほどにふくれます。日頃けやきを利用している若者をはじめ、子どもたちも当日参加するだけから、当日の仕事の担い手となり、計画段階からの参加も見られるようになりました。

うれしいことに、年間の大きな行事には、北町5丁目町会の餅つきをはじめ、大野田福祉の会・クリーンむさしのを推進する会北町支部・緑町コミセンをはじめ地域の諸団体との連携もすすんでいます。日常的にはまちづくり局13チーム(09年10月現在)、約200名の活動によって、性別・年齢を問わず多彩なたくさんの人たちの参加があり、世代間の交流の域を超えて世代間共同にすすみつつあり、「若い人がたくさんいてうらやましい」と言われるけやきになっています。

どんな人が、どのように使うだろうかと、まちの人々の様子を思いながら、何度も話し合い練られた建物(基本設計・早川洋氏)は、「あったかくて居心地が良い」「ふらっと寄りたくなる」「そこで友だちができる」ように願ってそれを形にしたものです。初期のコミセンではあまり大事にされなかった子どもや幼児連れの親子、なかなか来られないだろうサラリーマンのお父さんや、群れるのが苦手な人たちに来てもらうための工夫など・・・話し合ったことは、全部実現したわけではないけれど、今に生きているのを感じます。大勢の人が力を合わせれば、まちは良くなる!・・・私たちは活動しながらそのことを実感してきました。

あなたも来年は、コミュニティ活動に参加するけやきの運営委員になりませんか？

(Y. A)

***開館20周年行事のため12月6日(日)は休館とさせていただきます。**

けやきコミュニティ協議会

武蔵野市吉祥寺北町5-6-19

TEL 0422-54-8719

<http://www1.parkcity.ne.jp/keyaki-c/>

開館時間 9:30～21:30 水曜休館

☆ 編集後記 ☆

平成21年度もとうとう11月を迎え・・・アッという間に12月になってしまう勢いです！けやきコミセンが20周年を迎えるにあたり昔の資料を探したり、話を聞いたりとしていると本当に沢山の人が関わって、このけやきコミセンが生まれたんだと知り感慨深いものがありました。